

労働条件・労働福祉実態調査の 効率化

労働局 労働福祉課 企画・勤労福祉グループ

労働条件・労働福祉実態調査の概要

- 県内企業における労働時間などの労働条件等を把握し、労働関連施策の基礎資料とすることを目的として、毎年度1回実施。
- 調査結果は記者発表してWebページで公表している（例年：2月下旬）。

調査対象

県内に本社（本店）のある**1,500企業**
※常用労働者10人以上の民営企業

有効回答率

55%程度で推移（**830社**程度）
※オンライン回答率：**24%**（2023年度）

調査方法

依頼：**郵送**

回答：**郵送またはオンライン**※
（あいち電子申請・届出システム）
※オンライン回答は2022年度から開始

調査項目

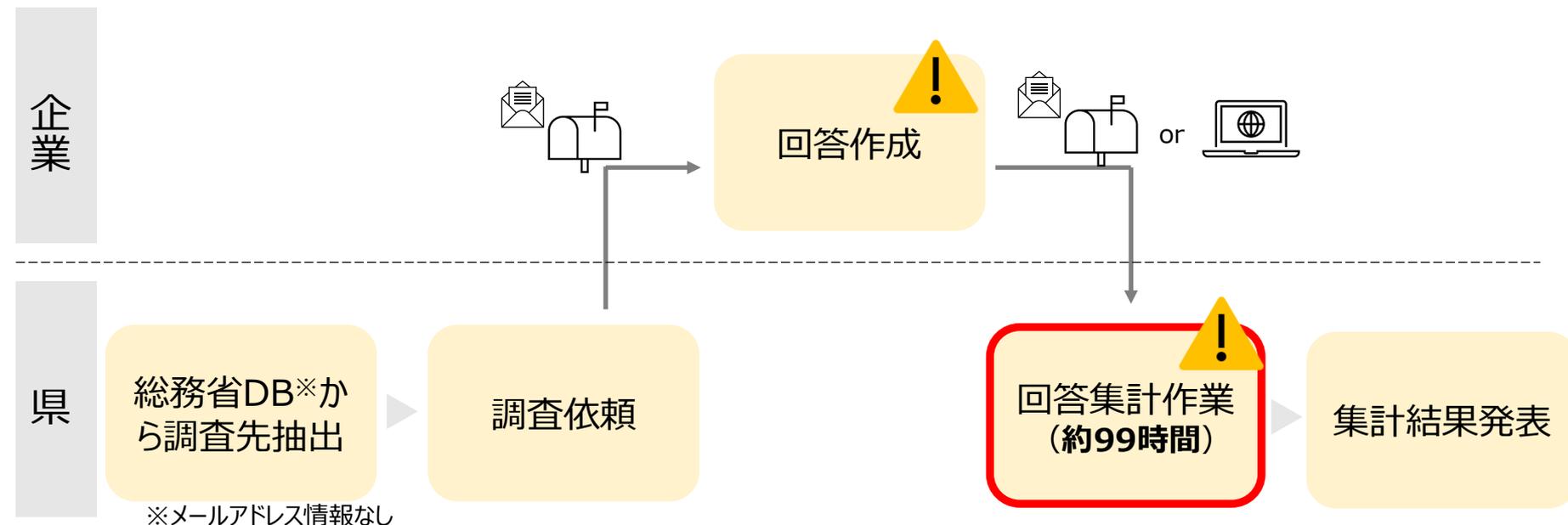
160程度の記入欄数

（2023年度調査）

項目	設問数	記入欄数
労働時間、週休制、年次有給休暇	5	15
ワーク・ライフ・バランス	10	116
時宜を得たテーマ（育児休業）	5	29

業務フローにおける現状分析

- 業務全体のうち、**回答集計作業**に多くの時間を要していることが判明。
- **デジタルツールを活用**して、約99時間（2023年度）要していた作業時間を約88時間削減することを目標に改善取組を実施。



現状の課題

- ! 多くの手作業が発生、工数増
(人為ミス防止のためのダブルチェック含む)
- ! オンライン回答率が低い

目指す方向性

- ① 紙回答集計の効率化
- ② オンライン回答の見直し
(効率化、回答率の向上)

改善取組① 紙回答集計の効率化（AI-OCRの活用）

- 紙回答集計の効率化のため、AI-OCRを活用した集計作業の自動化を実施。
- 手作業での入力作業がなくなることにより、大幅な効率化を達成。さらに、スキャンした結果を画面上で確認可能なため、入力結果確認（ダブルチェック）の負担も軽減。

改善前

受付処理

集計ファイルに手入力

入力結果確認
(ダブルチェック)

作業時間 約82時間

改善後

受付処理
(簡易)

調査票を
スキャン

AI-OCRが
自動集計

AI-OCRの
誤認識修正

入力結果確認
(ダブルチェック)

50~100件まとめて処理

作業時間 約12時間※ → 約70時間削減

※AI-OCRの読取設定作業含む

(参考) AI-OCRの読取結果 確認画面

キャンセル 保存

ファイル名 :12031726_2_0.jpg
FormID :01_TyousaHyou1Ura
タス :CSV出力済
日時 :2024/12/02 18:02:55

スキャンデータ

読取結果

※ⅡからⅣの設問は、常用労働者（パートタイム労働者を除く）について回答してください。

Ⅱ 労働時間・週休制・年次有給休暇

問1 就業規則等で定められた1日の所定労働時間及び週所定労働時間を記入してください。
(休憩時間、残業時間は含めません。)

	時間	分
1日の所定労働時間(注1、注2、注3)	8	00
週所定労働時間	40	0

(注1) 1日に複数の労働時間制を採用している場合は、最も多くの労働者に適用されている時間を記入してください。
(注2) 1日の所定労働時間が日により異なる場合(例えば、七曜半休制など)は、通常の曜日の時間を記入してください。
(注3) 変形労働時間制により、1日・週所定労働時間が異なる場合には、変形期間内で平均した所定労働時間を記入してください。各変形期間によって所定労働時間が異なる場合には、1年のうち最も長い期間に適用するものを記入してください。最も長い期間に適用するものが特定できない場合(例えば6ヶ月ごとに異なる場合)は、最も平均的なものを記入してください。

問2 県内の常用労働者について、週休制の形態別に適用労働者数を記入してください。(注7)

週休制の形態	適用労働者数(人)
週休1日制 または週休1日半制	0
何らかの週休2日制 が実質的に少ない制度(注4)	0
完全週休2日制(注5)	97
実質的に完全週休2日制より 休日数が多い制度(注6)	0

(注4) 月3回、隔週、月2回、月1回の週休2日制の他、3勤1休、4勤1休等をいいます。
(注5) 毎週週休日が2日ある制度をいいます。
(注6) 月1回以上週休3日制、3勤3休、3勤4休等をいいます。
(注7) 変形労働時間制により、繁忙期には週休1日制、閑散期には週休2日制を実施する等、時期によって週休制の形態が異なる場合は、1年間のうち最も長期間適用する形態を記入してください。最も長期間適用する形態が特定できない場合は、最も平均的なものを記入してください。交替制勤務の場合は、年間休日総数を52週で除し、週あたりの休日日数を算出したうえで、該当する週休制の欄に適用労働者数を記入してください。

問3 年間休日総数は何日ですか。

1/32

項目名	値	信頼値
整理番号	1557	98
15時間	8	99
16分	00	99
17時間	40	99
17分	00	99
19週休	0	99
20週休	0	99
21週休	97	99
22週休	0	99
23休日総数	113	99
24年休	74	99
25年休	1045	99
26年休	548	99

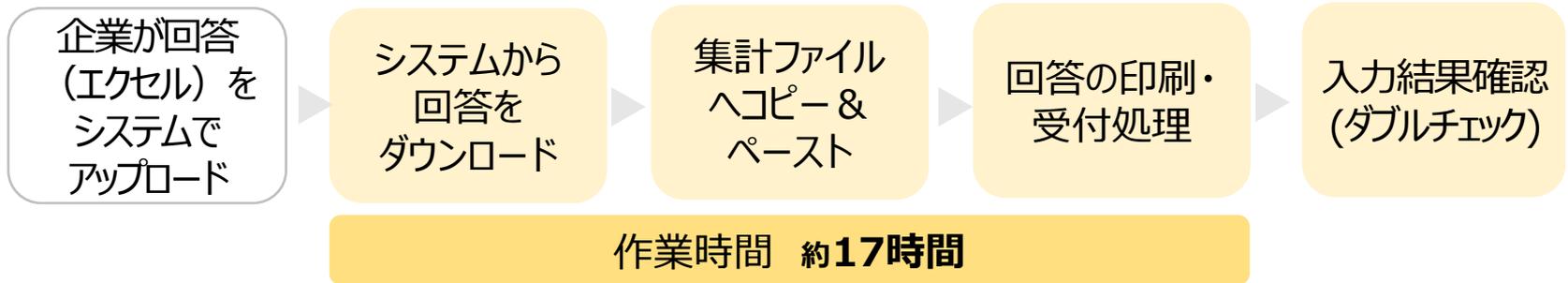
スキャンデータにカーソルを合わせると、該当する読取結果が分かる
⇒画面上で入力結果確認作業が完結するため、負担軽減に

改善取組② オンライン回答の効率化

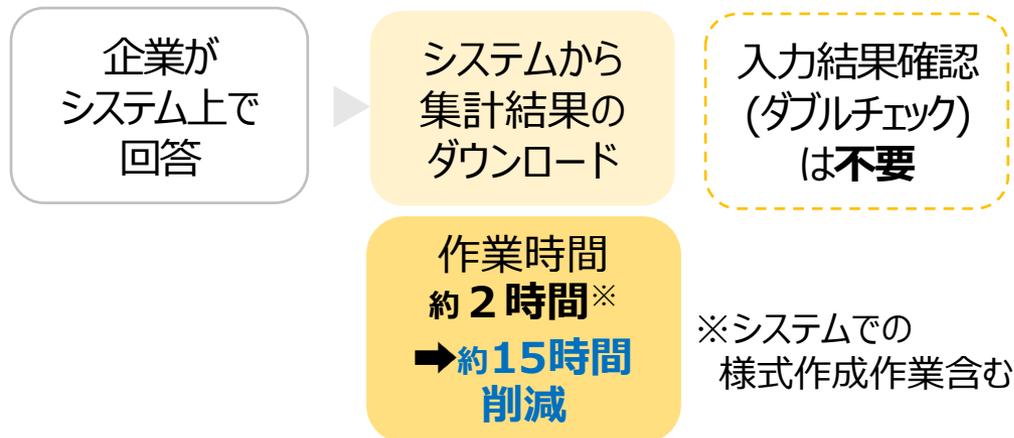
- オンライン回答の集計作業効率化のため、従来のエクセル様式提出形式から、**オンライン上でのアンケート形式に変更**。
 - オンライン回答はシステム※上で自動集計されるため、**職員の集計作業は発生しない**（事前のシステム様式作成作業は必要）。
- ※あいち電子申請・届出システム

職員の作業フロー

改善前



改善後



<回答入力画面>

問1-2 就業規則等で定められた週所定労働時間を入力してください。

(例) 40時間の場合は時間チェックをうって「40」としてください。
40時間30分の場合は時間にチェックをうって「40」、分にチェックをうって「30」と入力してください。

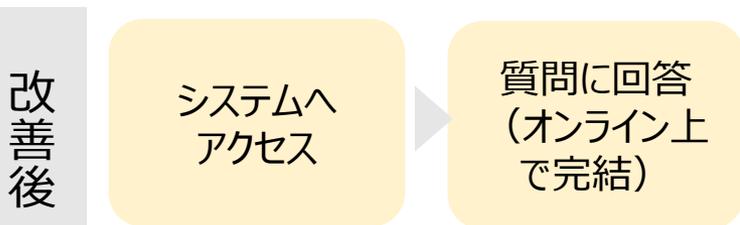
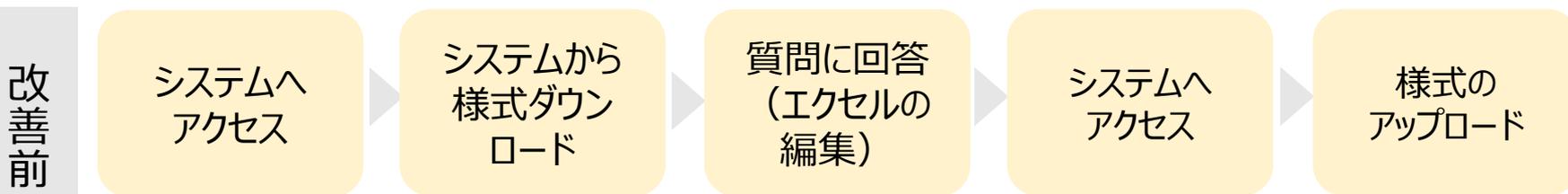
時間

分

改善取組③ オンライン回答率の向上

- オンライン回答形式の見直しにより、**企業側の利便性も向上**。また、オンライン回答のメリットや操作手順を記載した**案内文を作成・同封**し、オンライン回答を促進。
- 調査依頼文では**オンライン回答を標準とする記載に変更**。

企業側の作業フロー



<オンライン回答の案内文>

2024年労働条件・労働福祉実態調査
オンライン回答のご案内

愛知県労働局労働福祉課

～調査票の回答は、かんたん便利なインターネットをご利用ください～

- いつでも
 - 回答期間中は24時間いつでも回答できます。
- かんたん・効率的
 - 回答サイトにはQRコード、検索サイトから簡単にアクセスできます。
 - 回答が必要な項目だけ表示されるので簡単に回答できます。
 - 利用者登録はいりません。

※ 回答内容は厳重にセキュリティで保護されます。

回答者の負担を軽減し、
双方にメリットのある**オンライン回答**を後押し

改善の効果

- AI-OCRの活用及びオンライン回答の見直しにより、オンライン回答率が**33%アップ**、回答集計作業時間を**約85時間削減**。
- 作業時間が削減できたことにより、調査結果を例年より**半月程度前倒して公表**。

オンライン回答率



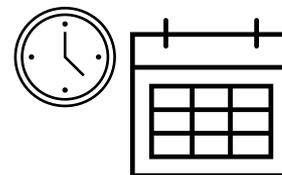
回答集計作業時間



結果公表時期



半月程度早く公表



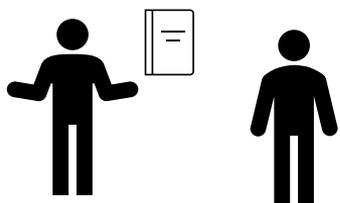
今後の展望・横展開

- AI-OCRの効果検証・改善をしたうえで、マニュアルを作成し、**次年度以降も取組を継続**していく。
- 更なるオンライン回答率向上のため、引き続き調査対象企業に協力を呼び掛けていく。
- 今年度から配属された**デジタル・DX担当**を通じて取組内容・効果を他所属に周知し、同様の業務への**横展開を図る**。

所属内での取組

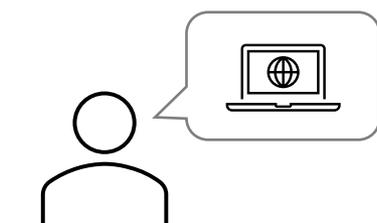


様式修正



マニュアル作成

企業への働きかけ



オンライン呼び掛け

他所属へ展開



各局デジタル担当等

各局業務へ展開

県庁の多くの業務に適用可能
デジタルツールを活用し、職員の負担軽減を

工事情報連携システムの開発と活用

システム連携による業務効率化をめざして



農林基盤局 農地部 農林総務課

農林技術管理室 技術管理企画グループ

工事情報連携システムとは

農業水産局・農林基盤局で発注する工事及び業務においては

- ・ **非効率**
- ・ **誤入力**の可能性
- ・ 情報に**タイムラグ**

R3 補助版 標準積算システム Ver.3

あいち 電子調達共同システム (GALS/EC)

電子入札システム
入札情報サービス

工事等成績評価システム



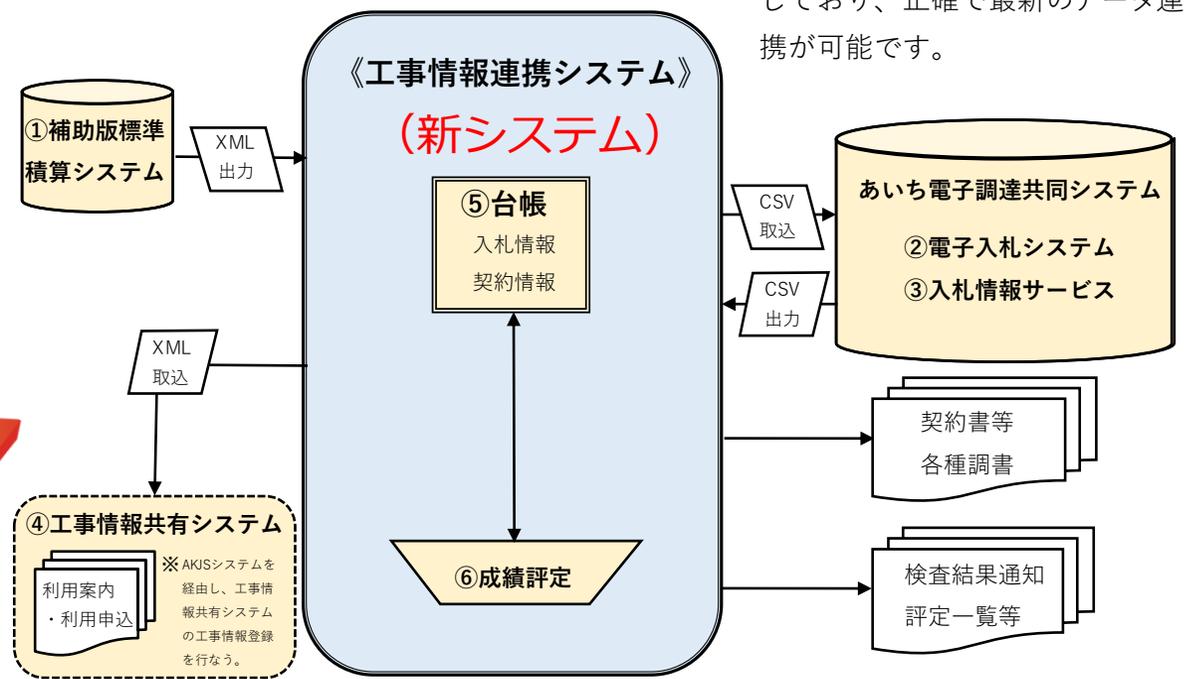
監督員や契約担当

あいち建設情報共有システム
(公財) 愛知県都市整備協会

農林水産関係工事台帳

2024年度からのシステム状況

①～④の独立したシステムと工事情報連携システムがファイル連携しており、正確で最新のデータ連携が可能です。



開発のきっかけ

2022年度から本格運用を開始した工事報共有システムにおいて、「使用開始前の登録」を発注者が行う必要があったが・・・

1

受注者名を間違えて登録し、受注者がログインできないなど混雑

2

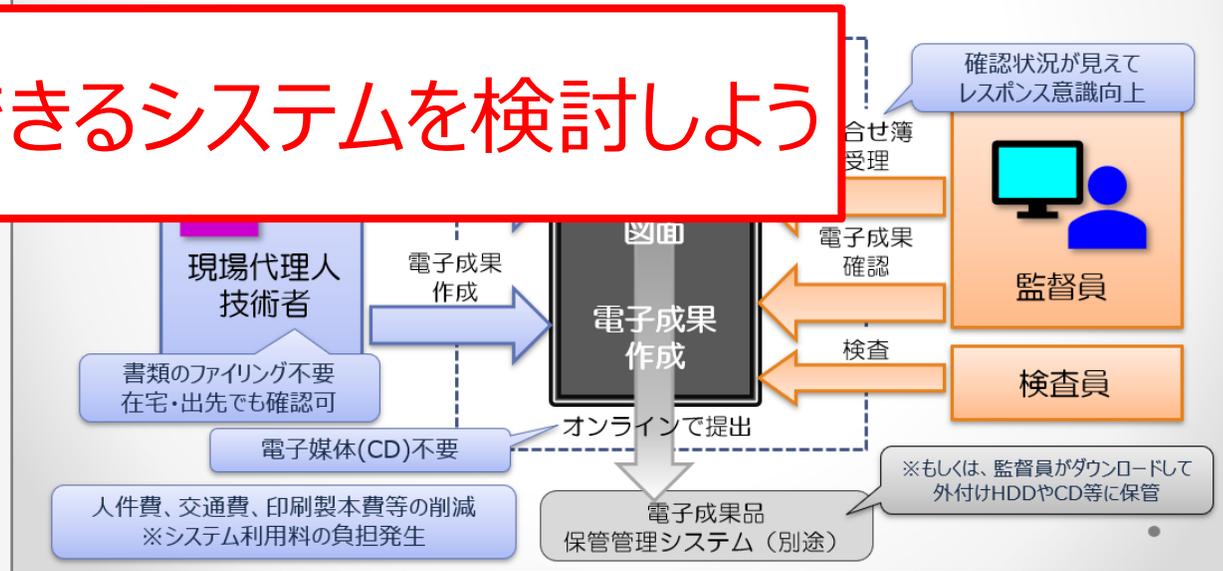
システム使用の契約後の案件修正は再契約



あいち建設情報共有システムとは

- ・情報共有システムは、受発注者間の打合せ簿など工事書類をインターネット上で提出・確認・共有し、建設現場の生産性向上や働き方改革を支援するものです。
- ・愛知県都市整備協会では、受注者が発注者ごとにシステムを覚える手間を軽減するため、県との協定に基づき、県だけでなく市町村等も使える「あいち建設情報共有システム」を提供しています。

台帳を有効活用できるシステムを検討しよう



開発の構想

業務のムダを排除し効率化を実現するために、利用者から「本当に必要とされるシステム」を第一に考えてみました。

- 1 契約情報を一元管理し、リアルタイムで活用
- 2 各システムで入力したデータを連携し、自動入力によりヒューマンエラーを防ぐ
- 3 書類様式は定型化して埋込印刷を可能に



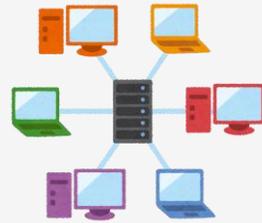
活用状況

システム間のデータ連携により各システムへの迅速かつ正確な登録が可能に



積算システム

積算情報
(XML連携)



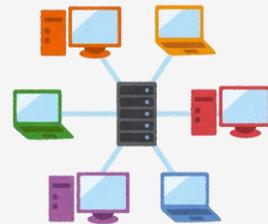
新システム

入札情報
(CSV連携)



電子調達システム

落札情報
(CSV連携)



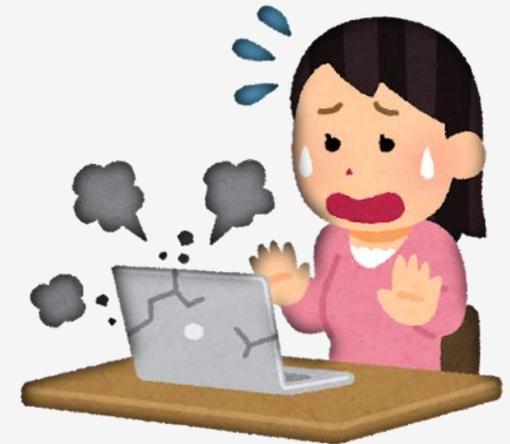
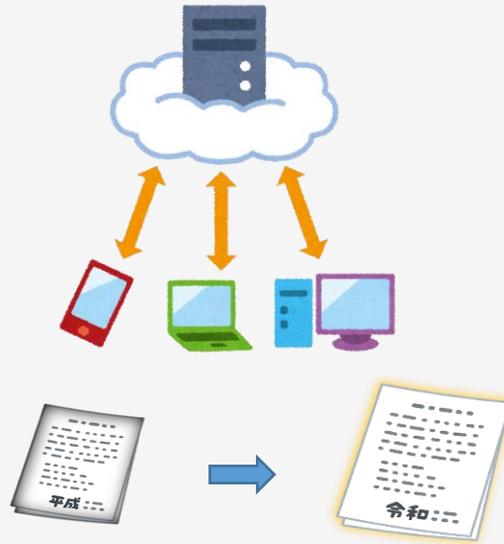
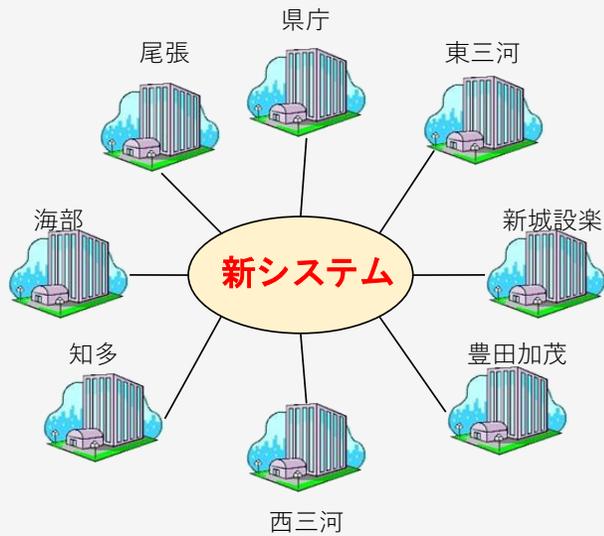
新システム

契約情報
(XML連携)



工事情報共有システム

取組み効果



1 新システムにデータ集約



検索や集計が**カンタン**に！

2 書類の様式を統一し埋込印刷



様式改定も**一発**！

3 クラウド化



破損事故**リスク低減**！

効果（質の向上）について

工事情報共有システムの登録データミス件数

2022年度（手入力） **76** 件（全体で460件中）

2024年度 **0** 件（全体で520件中）

主なミス内容

業者名間違い・契約金額間違い・
メールアドレス間違い など



効果（事務の効率化）について

使用者からの評価

台帳入力の効率化による短縮時間



平均 19 分／案件

電子調達共同システムの連携による短縮時間



平均 24 分／案件

積算システム・工事情報共有システム連携による短縮時間



平均 19 分／案件

書類の自動入力による短縮時間



平均 26 分／案件

平均値として、工事 1 件あたり **88** 分、業務 1 件あたり **69** 分の短縮

システム導入による削減時間

全体で工事520件、業務570件を実施するため **1,419時間**／年

システム導入による経費削減

1,419×3,000円 = **4,257,000円**／年



工事情報連携システムの研修

工事情報連携システムの開始に伴い、基本的な操作知識を取得するため、マニュアル配布のほか、研修を実施しました。

1 システム第1回研修
(所属の担当連絡員を対象)

2 システム第2回研修
(部門内職員を対象)

3 研修動画公開
(第2回研修以降、いつでも視聴が可能)

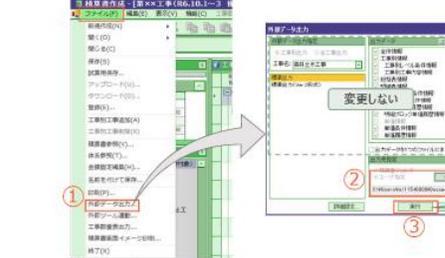
工事情報連携システム 操作研修

研修内容 今回の研修は初めてシステムを操作する方へ、工事情報連携システムとはどのようなシステムなのか？ どうやってインストールするのか？ など基本的な部分から説明します。

1. 工事情報連携システムとは？ …システムの概要
2. インストール方法 …情報政策課への申請、プログラムのコピー
3. 「基本情報」の操作方法 …積算システムとの連携
4. 「入札情報」・「契約情報」の操作方法 …CALS・PPIとの連携
5. 「監督員」・「台帳一覧」の使い方 …工事情報共有システムとの連携
6. 「完了情報」・「成績評定」の操作方法 …完了検査、成績評定の入力
7. その他機能紹介 …各種帳票・調書の出力方法
8. 連絡事項 …バージョンアップ、バグ報告

3) 「標準積算システム」からデータ連携(辰林のみ)

- ① 標準積算システムの「ファイル」-「外部データ出力」ボタンを押す。
- ② 「参照」ボタンから任意のフォルダを指定する。
- ③ 「実行」ボタンを押す。



2) CALSに取り込み

- ① CALSの「一括案件登録」からCSVファイルを参照する。
- ② 「登録」を押す。



4. 「入札情報」の操作方法

工事情報連携システムの開発と活用

今後も更なる事務の効率化と利便性の向上を進めます！

ご清聴ありがとうございました。

農林基盤局 農地部 農林総務課 農林技術管理室

AIを活用した音声・動画データからの文字起こし

愛知県警察本部生活安全部
情報技術戦略課

1 現状把握

業務で取り扱う音声

- 事件の被害者等が録音したデータ
- ドライブレコーダーの動画データ
- 会議等の音声データ

等々

文字起こし

- 何度も聴き返しながらゼロから手入力
- 長時間の作業（1時間の音声に8時間以上）
- 増加傾向

2 AIを活用した音声データ等からの文字起こしの検討

警察業務でAIを活用する際の条件

- インターネットに接続しない環境での動作
- 学習済みAI
- 信用できる精度
- 一定以上の処理速度（再生時間の1/10程度）

民間品導入の問題点

- 高額（1ライセンス10万円）
- 求めている精度に満たない
- 処理速度が遅い（再生時間と同程度）
- 汎用性が低い

3 システム開発

システム開発概要

- AI活用に必要な高性能パソコンの導入 (開発環境の整備)
- ローカル環境 (オンプレミス) で動作
- 人の耳で聴きとりにくい音声まで対応
- 再生時間の1/10程度の処理速度
- 多言語に対応 (100か国語)
- データ受け渡し用フォルダを構築
- 通常スペックのパソコンでも動作可能 (処理速度は遅い)

4 システム運用

高性能パソコン

- 令和5年11月から運用開始
- 令和6年12月31日までに
864件（ファイル数 15万1,301点、**総再生時間 132日7時間46分**）
の依頼を処理

通常パソコン

- 令和6年8月から約1万1,500台配備されている個人使用端末で使用可能な環境を整備
- 急ぎでない案件は依頼なしで処理可能

5 実演

新グッドジョブ運動.
mp4

AI自動文字起こしツール(Ver.2.1.0.0)

対象選択

ファイル指定 フォルダ指定

ファイル又はフォルダをドラッグ&ドロップ
(ファイルは複数指定可能)

選択

保存先設定

保存先フォルダ(ドラッグ&ドロップ)
(指定なしはデスクトップに保存)

保存フォルダ名 指定なしは「AI自動文字起こし_日付時刻の文字列」

 言語 停止 実行

経過時間: オプション>>>

ステータス: 停止中

5 実演（結果）

1
00:00:01,230 --> 00:00:07,770
愛知県警察本部生活安全部情報技術戦略課の浅井と申します

2
00:00:07,770 --> 00:00:12,830
10日で行っているリードタイム縮減の取り組みとして

3
00:00:12,830 --> 00:00:20,450
AIを活用した音声、動画データからの文字起こしについてご紹介させていただきます

4
00:00:20,450 --> 00:00:26,590
警察の業務においては、事件の被害者等が録音したデータ、

5
00:00:26,590 --> 00:00:34,870
ドライブレコーダーの動画データ、会議等の音声データ等といった様々な音声を取り扱っています

6
00:00:34,870 --> 00:00:45,350
音声は目で見る事ができないので、実際に人の耳で聞き、手入力で文字起こしをしている状況でありました

7
00:00:45,350 --> 00:00:53,690
しかも、一回聞いただけでは文字起こしをすることは困難で、何度も聞き返す必要があります

8
00:00:53,690 --> 00:00:56,570
長時間かかる作業となっています

9
00:00:56,590 --> 00:01:10,950
また、スマートフォンやドライブレコーダーの普及に伴い、文字起こしを必要とする業務が増加傾向にあり、多大な業務負担になっているといった現状を把握しました

10
00:01:10,950 --> 00:01:18,490
そこで、AIを活用した音声データ等からの文字起こしの検討を行いました

11
00:01:19,270 --> 00:01:26,570
警察で取り扱う情報の特性上、セキュリティの観点からインターネット上のものを知ることができるようになりました

12
00:01:26,570 --> 00:01:34,350
しかし、AIは使用できないことが多いため、警察内の環境で動作するシステムを導入する必要性がありました

13
00:01:34,350 --> 00:01:51,210
また、AIにゼロから学習をさせることは非常にコストや時間がかかることから、学習済みのAIであり、業務に活用できるだけの信用できる制度のものを利用する必要があると考えました

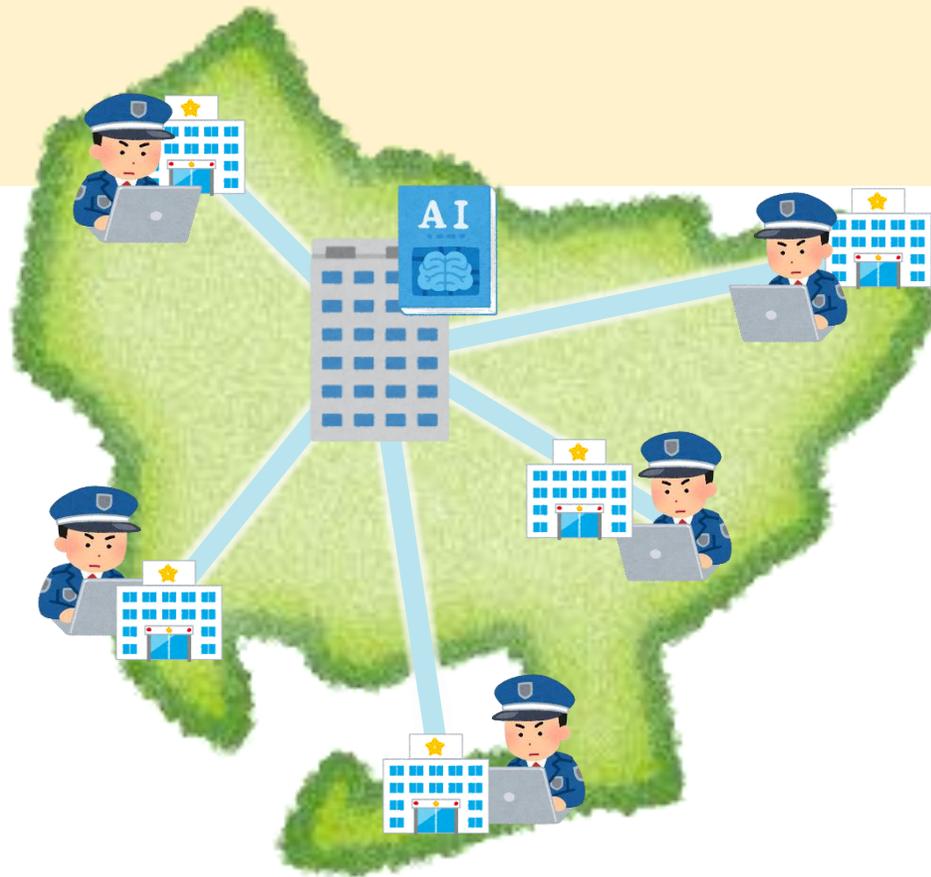
5 実演（結果）

1	ファイル名	開始からの時刻	連番	読み取り結果
2	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:01,230 --> 00:00:07,770	1	愛知県警察本部生活安全部情報技術戦略課の浅井と申します
3	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:07,770 --> 00:00:12,830	2	10日で行っているリードタイム縮減の取り組みとして
4	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:12,830 --> 00:00:20,450	3	AIを活用した音声、動画データからの文字起こしについてご紹介させていただきます
5	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:20,450 --> 00:00:26,590	4	警察の業務においては、事件の被害者等が録音したデータ、
6	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:26,590 --> 00:00:34,870	5	ドライブレコーダーの動画データ、会議等の音声データ等といった様々な音声を取り扱っています
7	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:34,870 --> 00:00:45,350	6	音声は目で見る事ができないので、実際に人の耳で聞き、手入力で文字起こしをしている状況でありました
8	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:45,350 --> 00:00:53,690	7	しかも、一回聞いただけでは文字起こしをすることは困難で、何度も聞き返す必要があります
9	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:53,690 --> 00:00:56,570	8	長時間かかる作業となっています
10	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:00:56,590 --> 00:01:10,950	9	また、スマートフォンやドライブレコーダーの普及に伴い、文字起こしを必要とする業務が増加傾向にあり、多大な業務負担になっているといった現状を把握しました
11	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:10,950 --> 00:01:18,490	10	そこで、AIを活用した音声データ等からの文字起こしの検討を行いました
12	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:19,270 --> 00:01:26,570	11	警察で取り扱う情報の特性上、セキュリティの観点からインターネット上のものを知ることができるようになりました
13	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:26,570 --> 00:01:34,350	12	しかし、AIは使用できないことが多いため、警察内の環境で動作するシステムを導入する必要があります
14	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:34,350 --> 00:01:51,210	13	また、AIにゼロから学習をさせることは非常にコストや時間がかかることから、学習済みのAIであり、業務に活用できるだけの信用できる制度のものを利用する必要があると考えました
15	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:51,210 --> 00:01:56,550	14	さらに、迅速に事件等に対応するために、AIの機能を利用することができるようになりました
16	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:01:56,570 --> 00:02:00,030	15	一定以上の処理速度を求めることとなりました
17	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:02:00,030 --> 00:02:15,230	16	これらの条件を満たしたシステムを民間企業に依頼すると非常に高額の前算が必要となり、既存のソフトでは精度や処理速度の面で求めている条件を満たしていないものでした
18	【時間有】新グッドジョブ運動.mp4.txt	00:02:16,230 --> 00:02:26,550	17	また、状況に応じて機能を追加するといった場合には、追加料金がかかるといったことやすぐに対応できないといった汎用性の必要がありました

6 今後の方向性

ネットワーク化

- 高性能パソコンを部内ネットワークで利用可能な環境構築
- 24時間誰でも利用可能なシステム
- 処理速度の向上



県に提出する 納税証明書は不要に

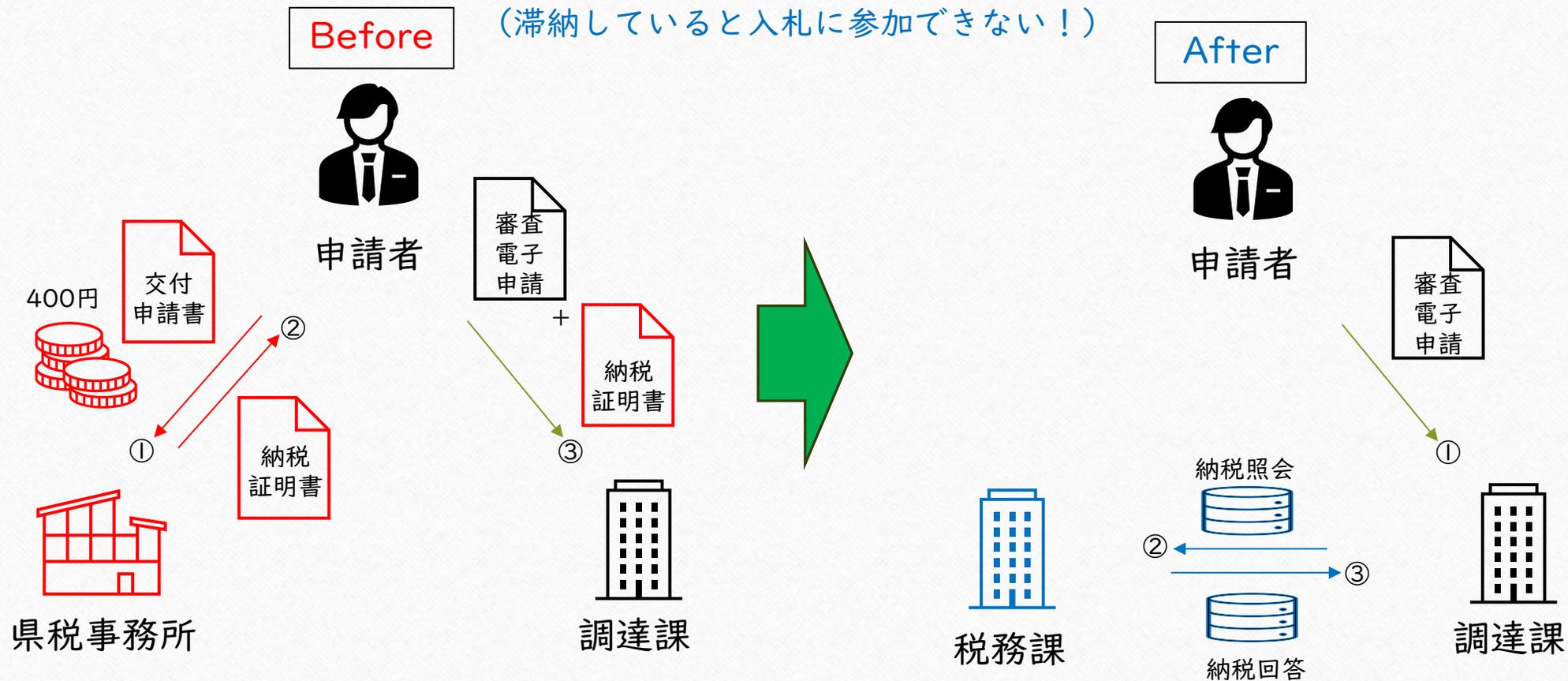
総務局財務部税務課 徴収グループ

課題

- ・ 納税証明書を取りに行く手間、費用
- ・ 県税事務所の窓口の混雑、事務負担
- ・ デジタル化、ペーパーレス化の推進

取組概要

県の入札参加資格審査申請（物品等）の手続き
（滞納していると入札に参加できない！）



※ ハードルは、調達課との連携と納税確認の事務負担の増

RPAの活用

(ロボティック・プロセス・オートメーション)

従来

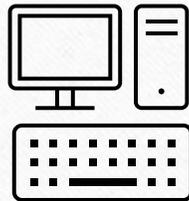


紙

申請者
一覧表



職員



税務システムで
1件ずつ確認



紙

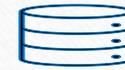
確認結果
一覧表

83時間
(1分/1件)

作業時間



RPA



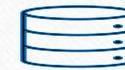
申請者
一覧データ



RPA
業務工程
自動化ロボット



税務システムで
自動確認



確認結果
一覧データ

30秒

操作時間

取組の効果

取組	効果
申請者の県税事務所来所が不要	「移動時間・費用＋待ち時間＋発行時間3分」の削減
申請者の納税証明手数料が不要	「200万円/2年」の削減（400円/件×5,000件）
納税証明書、申請書のペーパーレス化	「5,000枚/2年」の削減
職員の証明書発行事務の軽減	「228時間/2年」の軽減（5,000件×▲3分＋1,300件×1分）

今後の取組

1 引き続き庁内連携によって、納税証明書の添付省略を進めていきます。

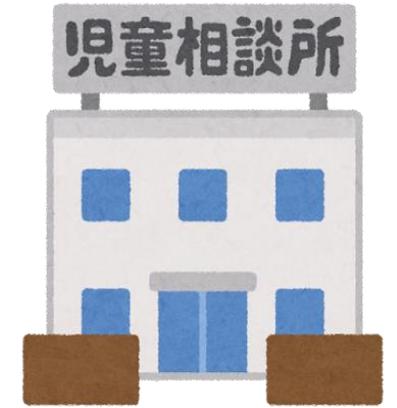
区分	納税証明書が必要な申請手続き	所管課	概算件数
今回	入札参加資格審査申請（物品等）	調達課	5,000件（R6定時）
実施済	入札参加資格審査申請（建設工事、設計・測量・コンサルタント業務）	建設総務課	2,400件（R6定時）
実施済	中小企業男性育児休業取得促進奨励金支給申請	労働福祉課	1,300件（9～12月）
※	建設業許可申請書・事業年度終了届	都市総務課	26,000件
※	公益法人認定法に基づく公益認定申請等	法務文書課	260件
	その他の申請約40手続き	手続所管26課	650件

※ 納税証明書の省略には、法令等の改正が必要な手続き

2 利便性を向上するため、今後も税務手続きのデジタル化を推進していきます。

御清聴いただき
ありがとうございました

総務局財務部税務課 徴収グループ

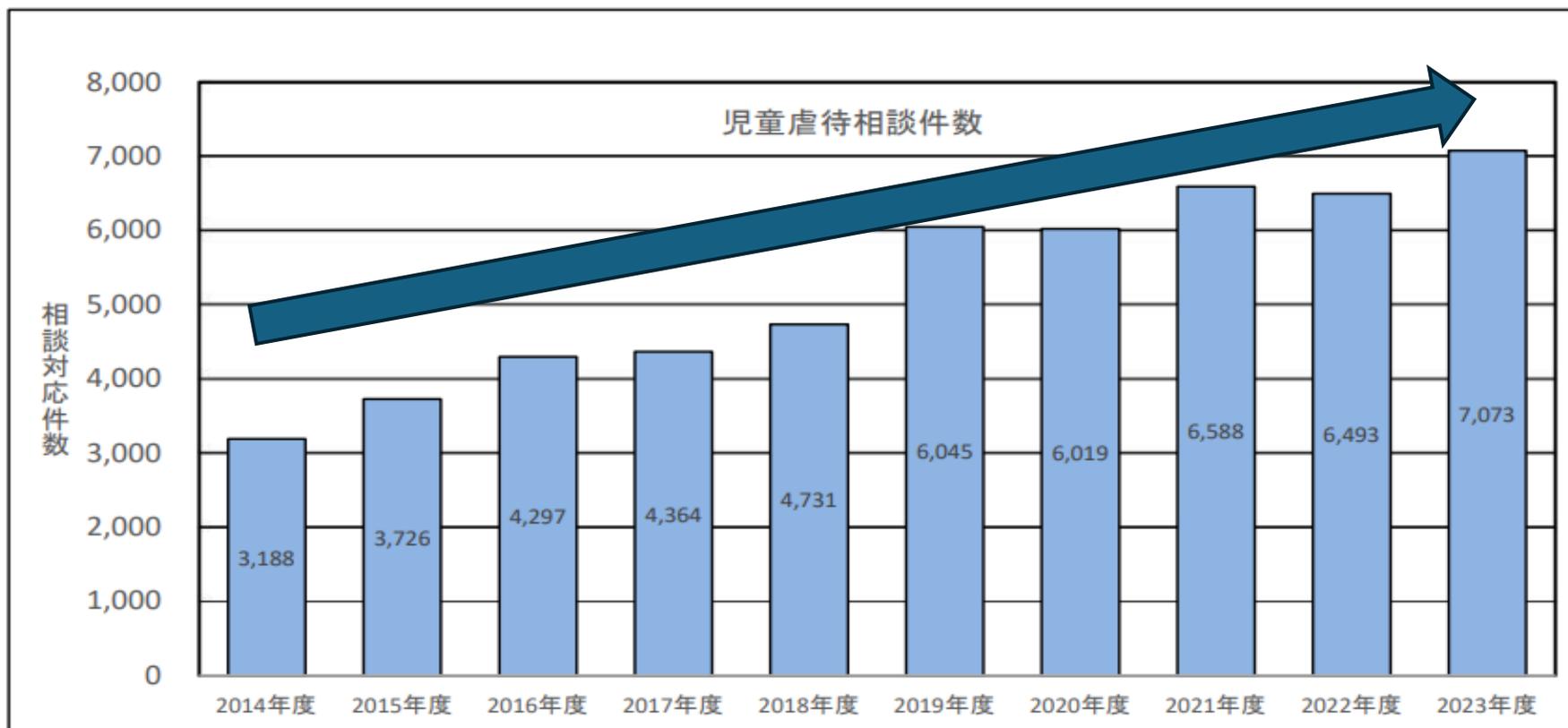


児童相談所業務 DXパッケージ



福祉局 海部福祉相談センター
児童育成課 DX推進チーム

児童相談所への虐待通報は増加している・・・



出典：「業務概要（2023年度実績）」（愛知県）

- 2023年度の虐待対応件数は、2014年度に比べ **約2.2倍**
- 虐待通報を受ければ、市町村・学校・園・保健センター等に調査し、**48時間以内**に子どもの安全確認
- 緊急の場合は**児童を一時保護**を実施

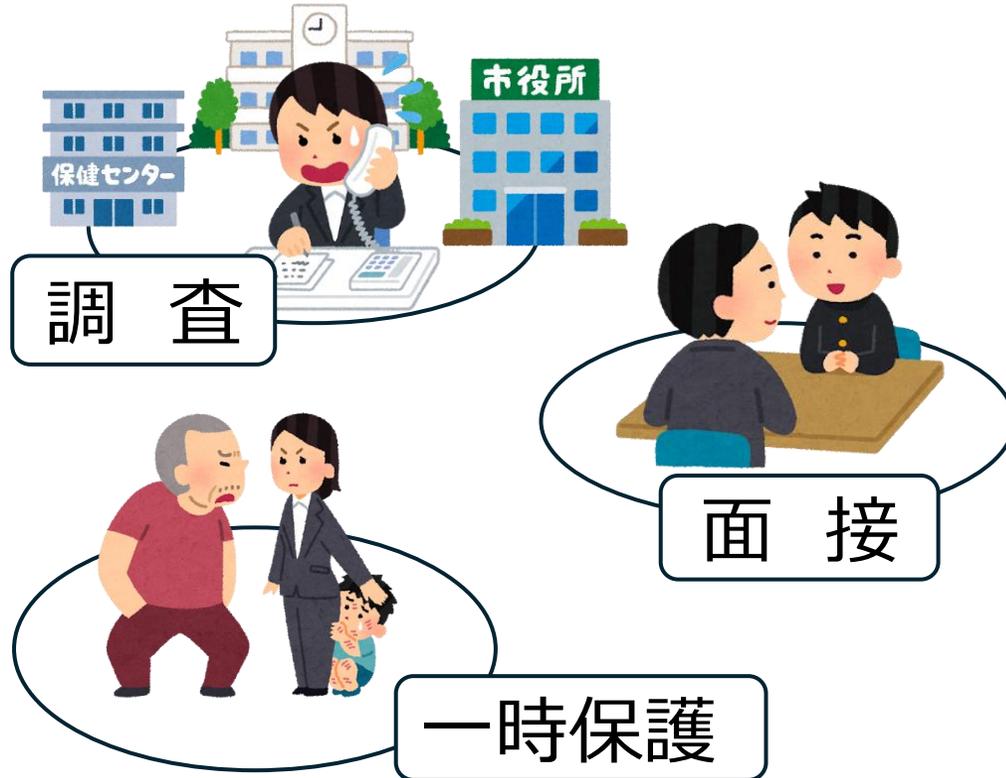
児童相談所に必要なスキルとは？

虐待通報があったので・・・
・関係機関の連絡
・人員等の調整
・各書類の作成 等を
至急対応してください！



① 突発的な業務への対応

24時間365日、
虐待通報が入れば
速やかな対応が求められる



② 迅速な対応

虐待通報が入れば、
48時間以内に安全確保
並びに調査と対応、一時保護

なぜ、児童虐待が
起きたのかな？

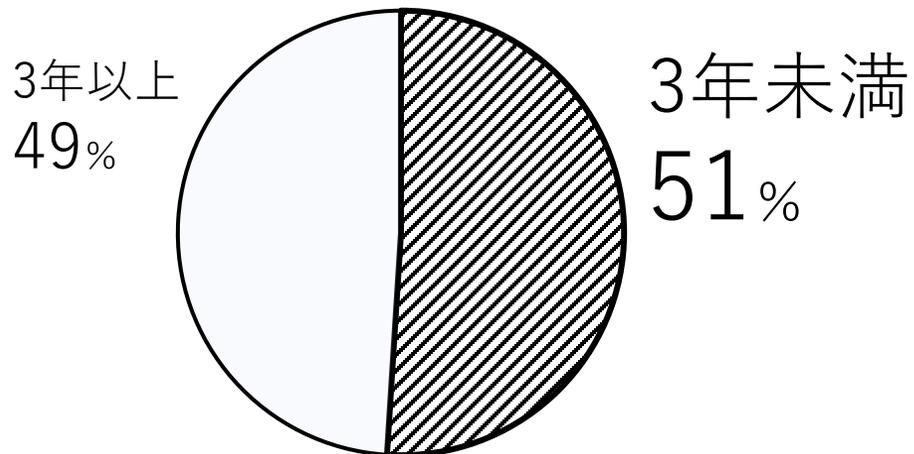
保護者にどう
虐待指導
しようか？

③ 人との関係づくり

保護者と子どもと向き合い、
皆で一緒により良い方向へ、
どうしたら良いかを考える

児童相談所の課題は何か？

職員の勤務経験年数



児相勤務経験3年未満が 半数を占める

令和5年度 新グッジョブ運動 知事表彰作品

児童相談センター ぐっしょぶ！委員会
～「新グッドジョブ運動」の取組促進活動～

福祉局 児童相談センター
事務局 豊田加茂児童・障害者相談センター
一宮児童相談センター



業務の非効率性は県の全児相でも課題

**組織全体で若手職員を支えるためには、
相談しやすい組織づくり・業務の効率化は、喫緊の課題**

課題の解決策

目標

- 業務の効率化
- 相談しやすい組織づくり

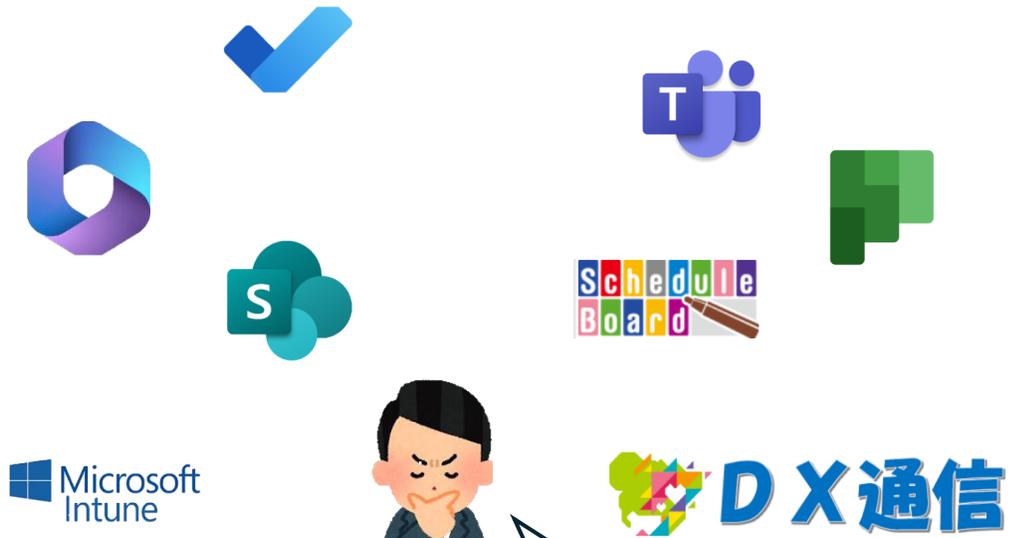
分析

- DXツールをどう活用できるのか
- 業務フローの見直し

結果

- 1つの問題解決では目標を達成できない
- 様々な観点から、**総合的な改善が必要**

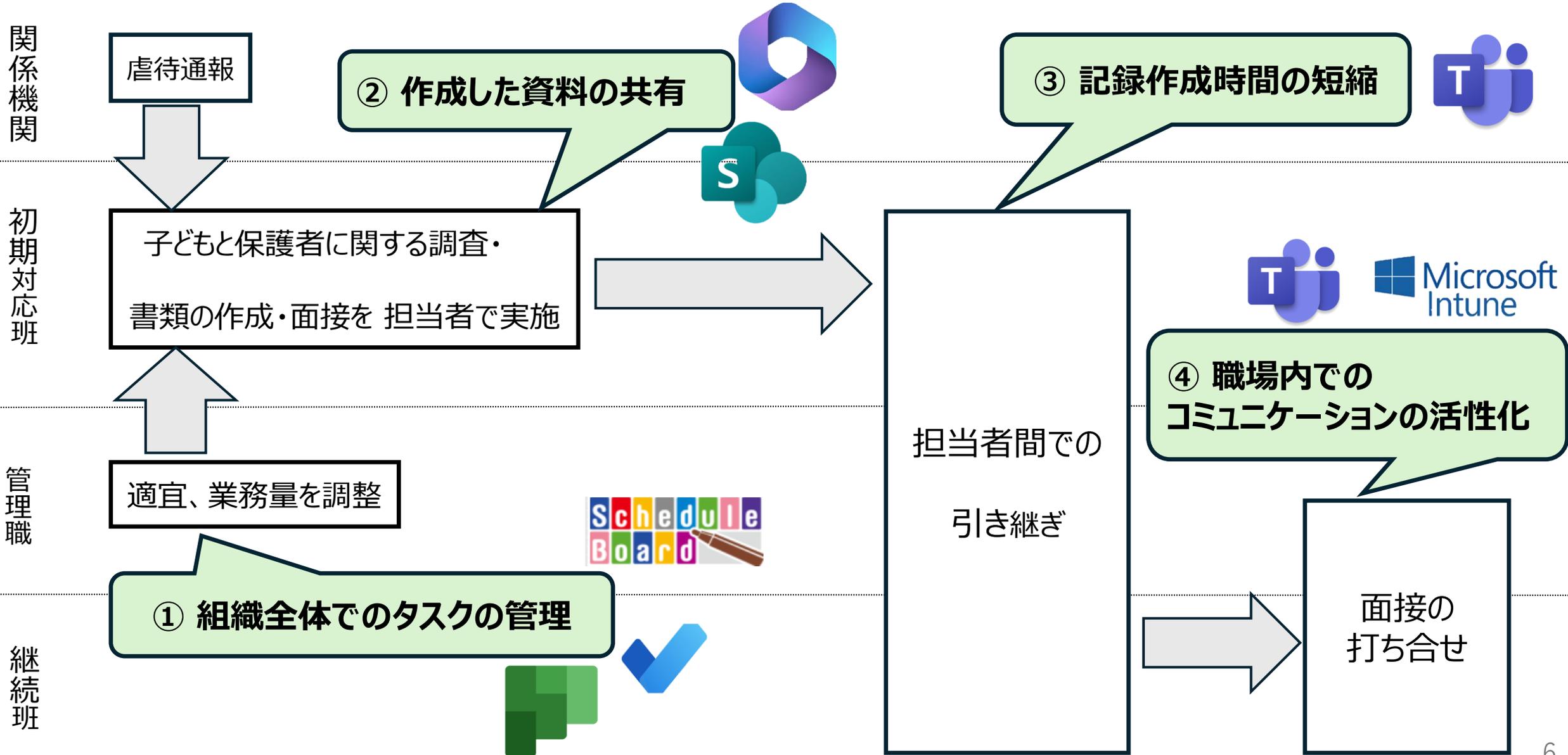
- ① 組織全体でのタスクの管理
- ② 作成した資料の共有
- ③ 記録作成時間の短縮
- ④ 職場内コミュニケーションの活性化
- ⑤ DXへの意識の浸透化



DX担当者

5つの観点でDXを
パッケージ化して導入、
課題を解決しよう！

業務フローでのDX導入例



解決策① 組織全体でのタスクの管理

改善前

虐待通報があったので・・・

- ・関係機関の連絡
- ・人員等の調整
- ・各書類の作成 等を

大至急対応してください！



地区担当者が個人でケース管理しているため、担当者が声を発しないと周囲も協力しにくい体制

改善後

Planner (プランナー) とは、業務の進捗管理を組織全員で共有し、業務の割り当てや進捗状況が見える化したアプリです



対応漏れが減った
周囲の状況が分かった
担当者に声をかけやすくなった

業務の漏れ & ダブりの 防止
管理職が業務量を把握、フォロー体制を拡充

解決策② 作成した資料の共有

改善前

面接で使う資料を作ろう



同じような資料、共有フォルダにあるのになあ



作った資料が共有をなされていないため、必要以上時間にかかってしまう

改善後

SharePoint (シェアポイント) とは、資料をオンライン上で共有しタグをいくつも付けることで、整理できるアプリです



メント > 森 > 触法 > 性加害

名前	対象年齢	+ 列の追加
1タッチの問題 (課題) .docx	学童用	
1タッチの問題.docx	学童用	
プライベートゾーン2.doc	幼児用	
プライベートゾーン用イラスト (男子・...		

資料が探しやすくなった
資料を1つずつ確認しなくて済んだ

資料を探す時間・作成する時間を年間35時間削減
資料をデータベース化し、資料作成時の参考に



解決策③ 記録作成時間の短縮

改善前

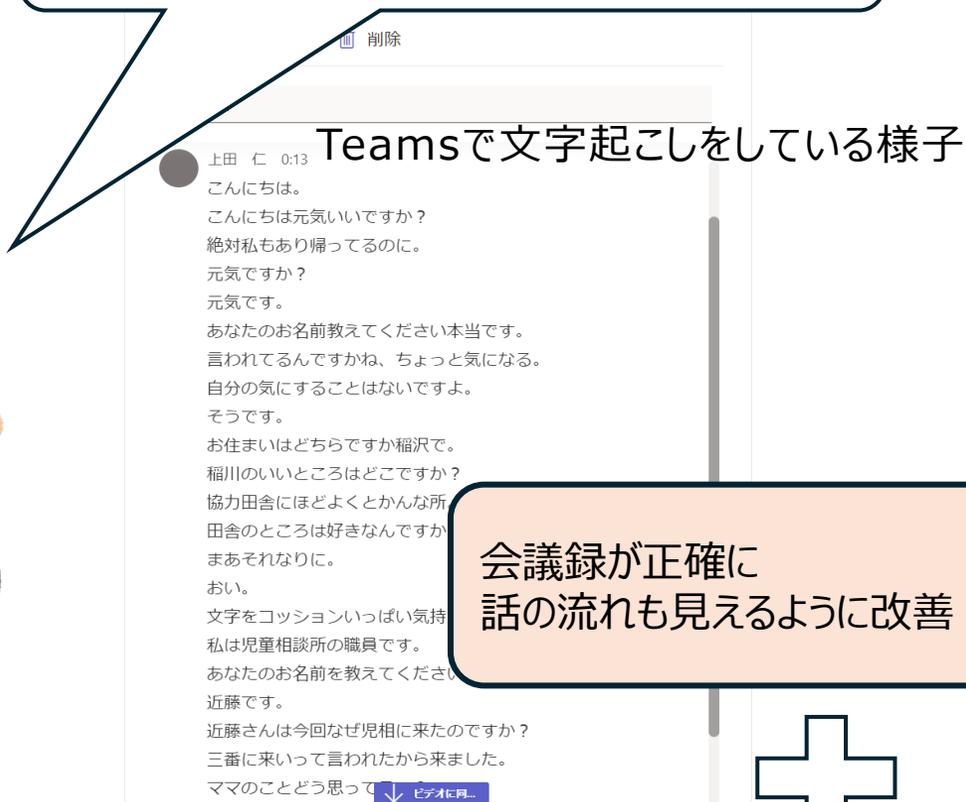
2時間の会議の手書きのメモを記録として書かないと・・・



面接や会議等は記録として残す必要があるが、後から作成すると、正確性や迅速さが損なわれてしまう

改善後

その場でPCで入力できるし、文字起し機能を使えば見返せるから安心して会議に参加できる



会議録が正確に話の流れも見えるように改善

文字起しソフトを使っているので正確かつ迅速
会議録等を作成する時間を年間20時間削減

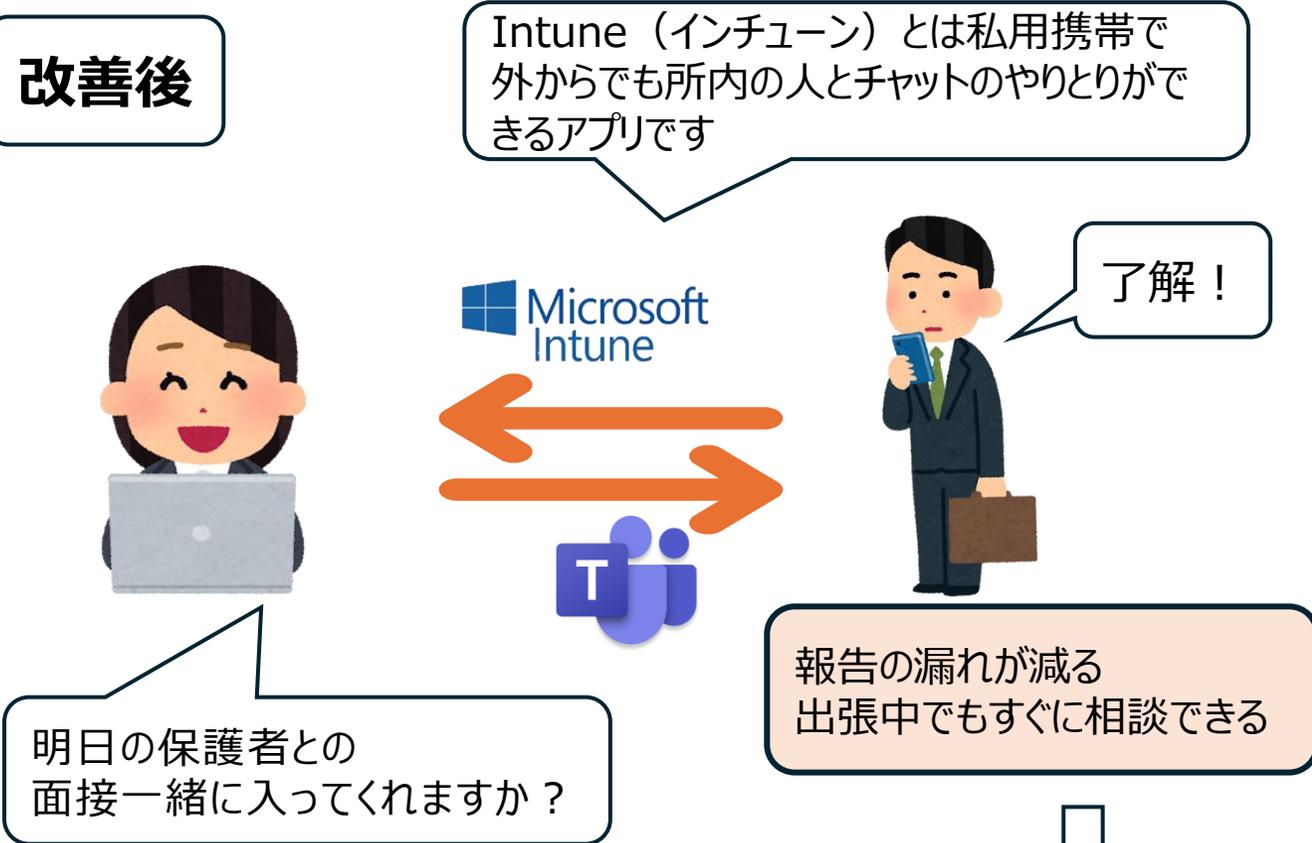
解決策④ 職場内コミュニケーションの活性化

改善前



出張が多く、担当者間・管理職と
まとまって対面で話す時間取りにくい

改善後



外出先からでも相談ができ、対面での打ち合わせを年間15時間削減

解決策⑤ DXへの意識の浸透化

改善前

DXに関する情報が
たくさんありすぎて
どれを使えばいいかわからない！



DXに関する知識は、個々人の興味やスキルに
委ねられていた
アプリの利便性を伝えても普及・浸透がしにくい

改善後

差出人: 上田 仁
送信日時: 2024年10月1日火曜日 18:49
件名: 【海部版DX】#9 初期班の仕事のみ
添付ファイル: 初動での対応について.docx

初動でDXを導入してみよう！！

今年度に入り、虐待通告件数が昨年度に比して、数倍になっています。
そのため、事務処理、役割分担、所内検討に対応がひきつづき、てんやわんやな状態です。
軽いお祭りですね（笑）

【特にいまてんやわんやなところ】

*自分関係ないとはいわないで・・・♡

だって、初動倒れたら、継続も回らなくなっちゃう・・・

班がちがう、わたし忙しいからとはいわず、県民・関係機関からしたらどうも迷惑な迷惑な迷惑です！

【対策】

そのためには・・・業務の見える化をはかろう！！

具体的には、TeamsのPlanerを活用していこう

まずは、だれかにタスクをふってみよう。別紙参照です！！

情報政策課のDX通信を参考に、
児相でどのようにDXツールを使うのか、
活用方法をまとめて、通信として親しみ
がわきやすいようにメールを送信

困った際にマニュアル代わりになる



児相版DXパッケージが浸透し、活用されている

DXパッケージを導入することで、県民サービスへの向上へ



⑤DX推進への意識の浸透化

- ① 組織全体でのタスクの管理
- ② 作成した資料の共有
- ③ 記録作成時間の短縮
- ④ 職場内でのコミュニケーション活性化

約70時間／年間 削減

相談時間の確保

フォロー体制の拡充



心理的・時間的余裕 につながることで、
子どもたちがより良い生活を受けられる
ケースワークが考えられるように……

いいともあいち運動SNSにおける 情報発信の効率化と 読みやすさの改善

農業水産局 農政部 食育消費流通課
需要拡大・ブランド力強化グループ



目次

- 「いいともあいち運動」について
 - － 現状把握
- 「いいともあいち運動」SNSについて
 - － 問題点
 - － 要因分析
 - － 目標
 - － 対策立案・実施
 - － 取組のポイント
 - － 取組例
 - － 取組効果
 - － 今後の方向性



「いいともあいち運動」について

目的

「いいともあいち運動」による 地産地消の推進

活動 内容

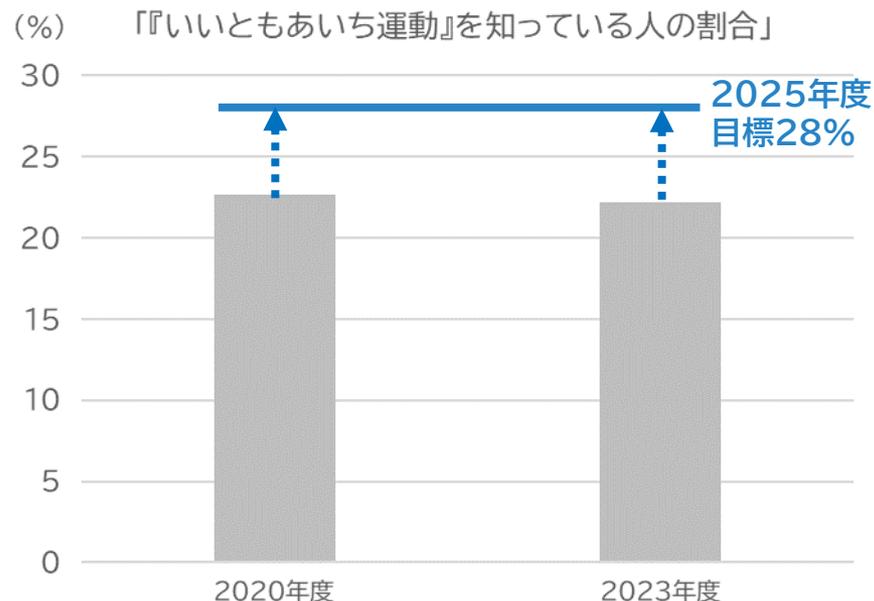
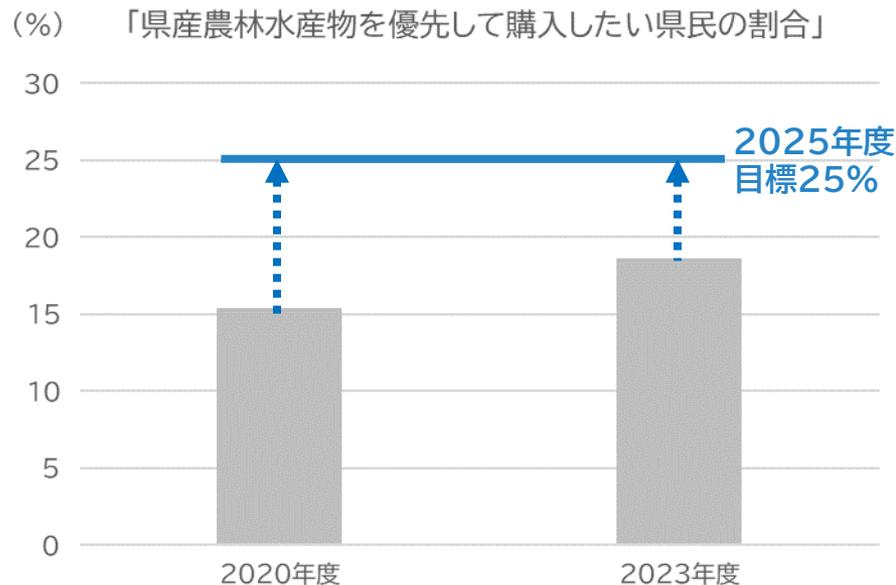
- いいともあいちネットワーク会員や
推進店※の拡大や取組支援
- 県産農林水産物を使用した商品への
シンボルマークの表示
- SNSを通じた運動に関する情報発信



※いいともあいちネットワーク会員、推進店・・・「いいともあいち運動」を推進する事業者及び実店舗

「県産農林水産物を優先して購入したい県民の割合」、
「『いいともあいち運動』を知っている人の割合」は
2020, 2023年度時点で、2025年度目標には達していない状況。

(県政世論調査結果)



「いいともあいち運動」のより積極的な推進が必要

「いいともあいち運動」について

目的

「いいともあいち運動」による
地産地消の推進活動
内容

- いいともあいちネットワーク会員や
推進店※の拡大や取組支援
- 県産農林水産物を使用した商品への
シンボルマークの表示
- **SNSを通じた運動に関する情報発信**



※いいともあいちネットワーク会員、推進店・・・「いいともあいち運動」を推進する事業者及び実店舗

「いいともあいち運動」SNSについて

☑目的

- 地産地消や「いいともあいち運動」への理解を促進する
- 県民が県産農林水産物を優先して消費することを促す

☑内容

- 地産地消に関わるイベントの案内・報告
- ネットワーク会員、推進店の取組紹介
- シンボルマーク“あいまる  ”掲載商品の紹介
- 県産農林水産物を使ったレシピ、商品の紹介



定期的かつ多頻度の投稿

- 通常期は週2～4回、
繁忙期は週5～6回の頻度で、
定期的にSNSを投稿。



フォロワー数・リーチ数の 伸び悩み

- Instagram
フォロワー^{※1} ; 250人
延べリーチ数^{※2}; 16,000
- X
フォロワー^{※1} ; 4000人
延べリーチ数^{※2}; 52,000

(※1 2023年12月末時点 ※2 2023年4月～12月末)

記事作成の作業負担と担当者スキル差があり、情報発信の効率と質が課題

01

記事作成の負担

- ① 様々な情報を収集
例)地産地消に関するイベント情報
県産農林水産物の販売店舗の情報
- ② わかりやすく文章にまとめる

情報収集→記事化に時間を要する

02

担当者のスキル差

- ✓ 担当者によってスキルが異なる。
- ✓ 担当者変更で、投稿記事の読みやすさ
・雰囲気・投稿頻度が変わる。

読者による継続的な閲覧に
つながりにくい

01

作業時間の短縮

SNSの記事作成時間を、今年度内に50%程度削減する。

02

SNS投稿作業の標準化

読者の確保・拡大を図るため、
担当者交代時も投稿記事の読みやすさと投稿頻度を
確保する方策を今年度内に構築する。

生成AIの導入とマニュアル・テンプレート作成により、 作業の効率化と情報発信の質の安定化を実現

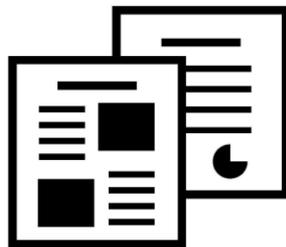
生成AIの導入



生成AIツールにより
記事作成を自動化

作業時間を削減

運用マニュアルの作成



SNS運用マニュアルの
作成

担当者交代時も
品質を維持しながら、
一貫した情報発信

画像テンプレートの作成



PowerPointの
テンプレート作成・活用

時間短縮と視覚効果の
向上を実現

取組のポイント



システムプロンプト ?

命令

{テーマ}内に記載された情報を基に{条件}に従い店舗の紹介文書を作成してください。

条件

1. 文字数は800字以内。
2. 文章の最後にハッシュタグを追加する。(可能であれば、3～8個程度)
3. 冒頭の30～40文字でインパクトを与える
4. 最も重要な情報を最初に掲載する
5. 話し言葉で書く
6. 漢字の使用率は30%くらいにする
7. こまめに改行し空白行を入れる
8. 一文の文章はできるだけ短くする
9. 絵文字を適度に使う
10. 店舗の情報を入れること。住所・営業日および時間・休業日・電話番号をいれる

出力方法

手順1:

条件1,2,3,4,5,6,7,8,9で紹介文書を作成してください

手順2:

条件10を表形式で出力してください

住所	内容
営業日	内容
営業時間	内容
休業日	内容
電話番号	内容
HPアドレス	内容

必要項目を生成AI上のシステムプロンプトに設定し、読みやすい原稿作成を指示

- 例) ・掲載する情報項目
- ・文章量
- ・文章の体裁(文体、絵文字の使用等)

ターゲットのペルソナ
(年代・家族構成等)も設定

取組例(全体レイアウト)

※イベント告知に関する投稿

取組前
(2023年度投稿)



取組後
(2024年度投稿)

取組例(文章)

取組前 (2023年度投稿)

 iitomoaichiundo ◇10月14・15日は「あいちの農林水産フェア」 in デンパーク

「あいちの農林水産フェア」が10月14日(土)・15日(日)に安城産業文化公園デンパークで開催されます。県産農林水産物及びその加工品が販売されるほか、フードマイレージ体験やベジチェック®体験、プレゼント抽選会などが行われます。愛知県産の花をあしらった華やかなフォトブースも設置されます。

三河会場限定で、食育体験や野菜deワークショップも実施。デンパークグルメやテイクアウトフードの販売、ステージイベントも行われますよ。家族や友人とお出かけして、あいちの食を堪能してみませんか。

あいちの農林水産フェア in デンパーク

- 日時 2023年10月14日(土)・15日(日)
9:30~17:00
- 会場 安城産業文化公園デンパーク
(安城市赤松町梶1)
- 内容
 - ・県産農林水産物及びその加工品の販売
 - ・キッチンカーグルメ・テイクアウトフードの販売
 - ・フードマイレージ体験
 - ・ベジチェック®体験
 - ・食育体験ブース
 - ・野菜deワークショップ
(宝石せっけん作り、エコバッグ作り、ねんどアート)
 - ・フラワーフォトブース
 - ・プレゼント抽選会
- 参加費 無料
※別途、安城産業文化公園デンパークの入場料が必要です。
- HP
https://mrs.living.jp/nagoya/event_leisure/topics/5252792



取組後 (2024年度投稿)

 iitomoaichiundo ◇「あいちの農林水産フェア」では親子で体験イベントを楽しめます！

 11月9日と10日に「あいちの農林水産フェア」開催します！


愛知県産の農林水産物や加工品を販売します。親子で楽しめる体験イベントも盛りだくさんです！
 

子ども農家の八百屋さんやシイタケ収穫体験、農業機械の展示など、子どもたちにも大人気のイベントを予定しています！


景品付きスタンプラリーやSNSキャンペーンも開催予定！
詳細は公式サイトをチェック！

https://mrs.living.jp/nagoya/event_leisure/topics/5855332

#あいちの農林水産フェア #愛知県 #体験イベント #スタンプラリー #SNSキャンペーン #農産物 #加工品 #楽しいイベント #いいともあいち #地産地消

14週間前

× 伝えたい内容をすべて記載
× 文字情報のみで掲載

○ 情報項目に絞り、詳細はHPに
○ 絵文字を効果的に活用

取組例(画像)

取組前
(2023年度投稿)



× チラシをそのまま掲載する

取組後
(2024年度投稿)



- 内容が一目でわかるよう文字入れ
- 特に告知したい画像を大きく掲載

作業時間の短縮を達成し、SNSのフォロワー数・リーチ数が大幅に向上！

1

作業時間の短縮



生成AIの導入により、
作業時間が
20分⇒10分に短縮

情報発信回数が増加可能
かつ効率的な業務が実現

2

フォロワー数の増加



- Instagram
400フォロワーに増加
(前年比158%)
- X
5800フォロワーに増加
(前年比136%)

(2024年12月末時点)

3

リーチ数の向上



- Instagram
30,000リーチ
(前年比186%増)
- X
75,000リーチ
(前年比145%増)

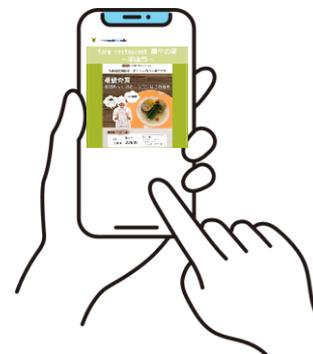
(2024年4月～12月末実績)

他の職員への マニュアル・テンプレートの共有



他の職員や後任の担当者が
誰でも手軽に一貫性のある
記事作成を可能にする

継続的なマニュアルの更新



トレンドを考慮し、
マニュアルを随時更新することで
最新の体裁と読みやすさを確保

**効率化と品質向上を図りながら、いいともあいち運動をPRし、
地産地消の取組を推進します。**